

印西大師 第14番 戸崎・福聚院

1 名称 (No.) 〔手引鏡：福聚院〕〔資料館：福聚院〕〔行程表：福聚院〕

2 場所 印西市中根1378 福聚院 (ふくじゅいん)

戸崎・観音堂から道程約50m

GPS座標 35.8095088747221, 140.2002903827262

3 由緒 天台宗 阿弥陀山 光明寺 福聚院

中根村字大畑にあり 天台宗比叡山派にして中
本寺泉倉寺末なり 阿弥陀如来を本尊とす 由緒
不詳 檀徒324人 (印旛郡誌)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体
あり。

5 境内 本堂のほか、たくさんの石造物がある。

6 写真 (2023.04撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



大師堂



本堂



御詠歌

7 情報

(1) 印西大師 第14番 福聚院 御詠歌 (泉倉寺本による)

常楽の岸にはいつか至らなん(まし) 弘誓(ぐぜい)の船に乗りおく(遅)れずば

四国八十八ヶ所 第14番 高野山真言宗 盛寿山(せいじゅざん) 延命院 常楽寺(じょうらくじ) 写し

(2) 阿弥陀三尊立像 (3軀)

製作年代、仏師名とも不明ですが、製作技法、願容 (特に耳朶) や複雑で彫りの深い衣文線等の特徴から、鎌倉時代初期 (12世紀後半から13世紀初頭) に中央 (京都・奈良) で活躍していた慶派 (運慶・快慶を中心とした仏師集団) に所属していた仏師によって製作されたと思われる秀作です。製作後大正末期までに4回にわたる修理の痕跡があり、阿弥陀如来 (左手、両手先、右袖外側の一部) 及び観音菩薩 (両手先、両足先、持蓮華) が後補されています。(印西市HPより)